

マリレ情報よろず屋

平成28年2月発行第41号
第二管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室

平成28年1月船舶海難情報（安全阻害1件）

事故事例（安全阻害/酒田）

ミニポートA丸は2名乗組みで釣りをしていたところ、風が強くなり、波も高くなってきたことから帰港しようとしたのですが、荒天のため航行できなくなり救助要請しました。A丸は付近を航行していたプレジャーボートに曳航され帰港しました。

ミニポートとは？

- ・船舶検査・小型船舶操縦免許が不要
- ・長さが3メートル未満
- ・機関出力が1.5kw（2馬力）未満

注意！

ミニポートは小さく軽いため安定性が悪い！風浪が強くなると帰港困難となるばかりか、転覆により大事故に繋がる危険性がある！



ミニポートA丸



小さく軽いため安定性が悪い

原因と対策

気象海象不注意が原因でした。冬季は気象が不安定で、海上では急に荒天となることもあります。ミニポートは気象海象の影響を大きく受け、航行不能に陥りやすいことから、冬季沖合いでの航行は危険を伴います。ミニポートはすぐに帰れる静穏度の高い海域で使用しましょう。

ワンポイント講座

ミニポートの安全通航のためには！

ミニポートによる海難は、全国で過去5年間に274隻発生し、浸水・転覆海難が3分の1を占めています。死亡者は7名にのぼり、すべて転覆海難によるものでした。ミニポートの転覆は死亡事故に直結しますので、次の事項を必ず守りましょう。

ミニポート用安全マニュアルをよろず屋HPに掲載していますので参考にしてください。よろず屋HPは裏面の二次元コードから入れるよ



海のルールを守ろう

ミニポート通航には免許は不要ですが、ルールを守り安全航行に努めましょう。

強風や高波時は出港中止

風、波の影響で転覆しやすいです。

ミニポートは気付かれにくい

旗竿などで回りに存在を周知。

夜間は航行を控えましょう。

帰港困難の恐れ

機関出力が小さく、燃料も少ない。

沖合いに流されると帰れなくなります。



事故事例（海中転落/秋田沿岸）

事故者は、磯場での釣り中、足元が悪く、過ぎて足を滑らせ海中転落しました。付近にいた釣り人が知人に連絡し、事故者はその知人の船により救助されました。事故者は病院に搬送され蘇生処置を受けましたが死亡しました。死因は溺水による窒息死でした。

事故発生の際の磯場



自己救命策（救命胴衣の着用、連絡手段の確保、海のもしもは118番）を確保し、安全な場所で釣りを楽しもう！



原因と対策

足元への不注意が原因でした。磯場での釣りは良い釣り場かもしれませんが、防波堤や岸壁といった人工物と違い、足場が悪く海中転落の危険性も高く、場合によっては高波が打ち込み危険な場所だと言えます。海中転落した際にも、付近に岩礁が多く、船が近づくことができず救助に時間がかかることもあります。十分注意して釣りを楽しみましょう。

ワンポイント講座 『海水温度と生存可能時間』について

「低体温症」は、体温が35度以下になる状態で、次第に動作が鈍く緩慢になり、中度で意識が混濁、正しい応答が得られなくなります。その後は意識が無くなり、非常に危険な状態になります。海中では、泳ぎ回らずじっとしていることが、体力の消耗や体温の低下の防止に有効です。体温の低下を少しでも防止するため、できる限り熱放出低減姿勢（HELP：Heat Escape Lessening Posture）をとって救助を待ちましょう。



体力の消耗と体温の低下を防ぐことで生存の可能性が高くなるよ！



生存可能時間（特別な服を着ない場合）			
海水温度	2 未満	2 ~ 10	10 ~ 20
生存可能時間	4 5 分以内	1.5 ~ 3 時間以内	6 ~ 12 時間以内



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト

（沿岸域情報提供システム）

